



2016/10/22 長野県9大学連携シンポジウム

## 「企業は学生に何を学んできてほしいのか？」

清泉女学院大学

清泉女学院短期大学

キャリア支援センター長 宮下 淳



## 本日の内容

1. 企業から寄せられた声
2. 学生支援を通じて感じること
3. 大学でどう備えるか？

# 1. 企業から寄せられた声



## 2016企業採用アンケート(本学独自)

### ■目的

企業の採用のあり方や教育に対する企業の考えかた等について把握し、学生の進路支援の一助とするため。

### ■方法

長野県内直近3年以内に本学から積極的に採用している企業に郵送にて実施。

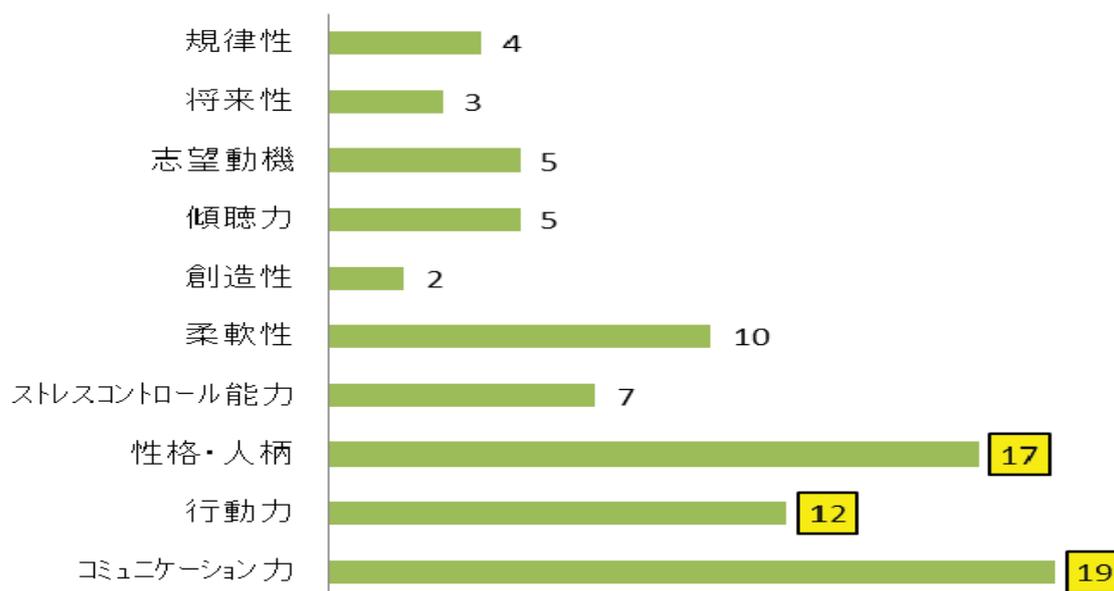
### ■実施時期:2016年8月1日から9月9日

### ■依頼企業数:35社(金融、建設・不動産、製造、商社、小売、情報、サービス、福祉、教育、公務員)

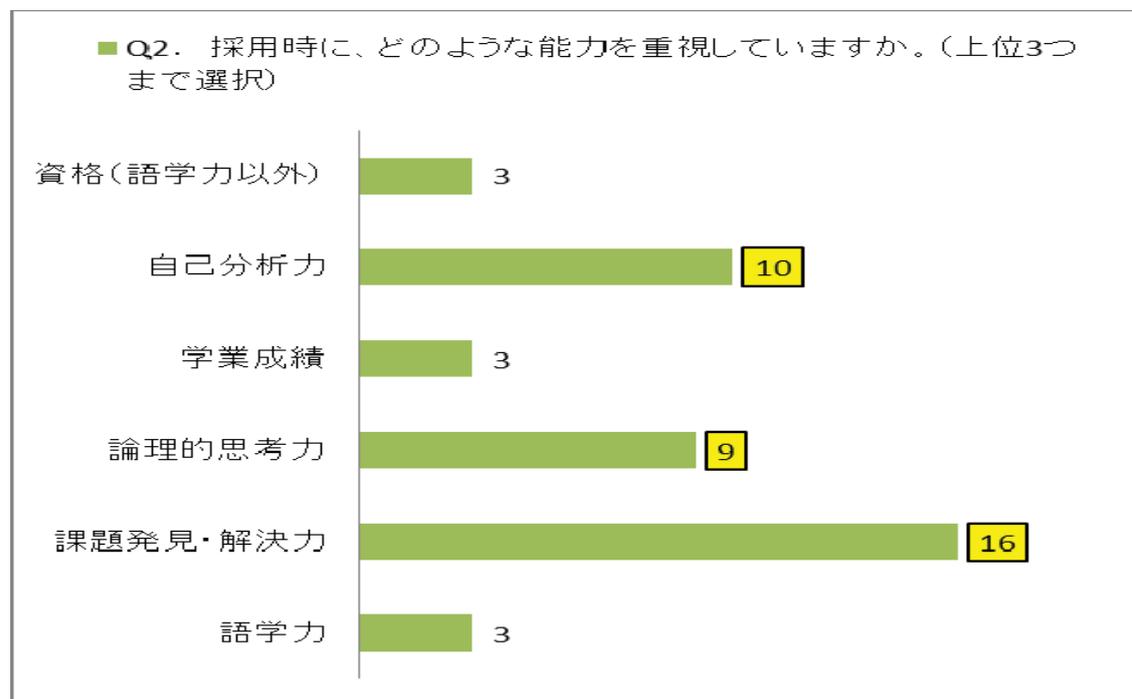
# 1. 企業から寄せられた声



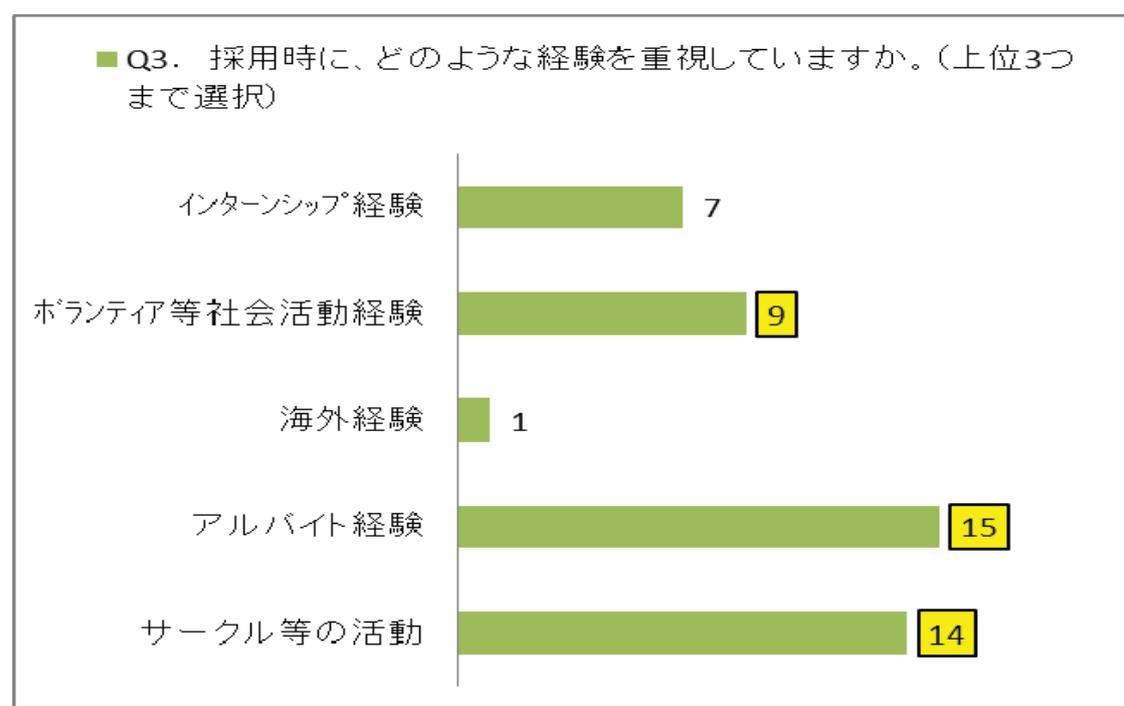
■ Q1. 採用時に、どのような資質を重視していますか。(上位5つまで選択)



# 1. 企業から寄せられた声



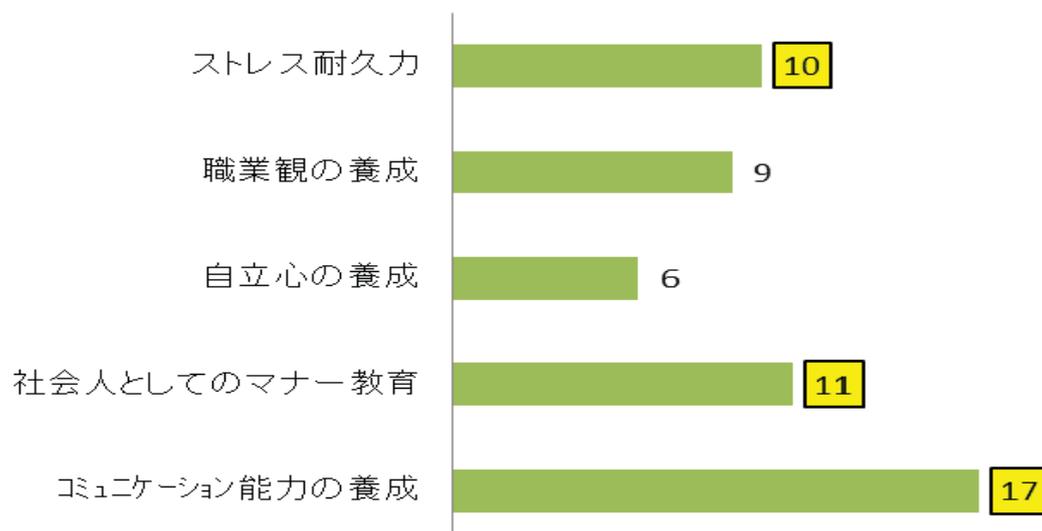
# 1. 企業から寄せられた声



# 1. 企業から寄せられた声



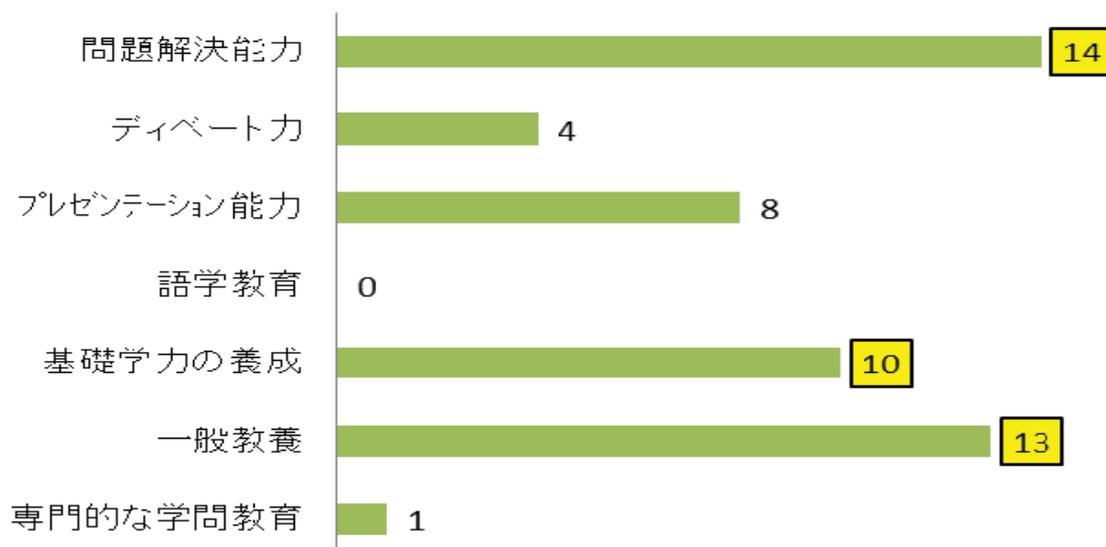
■ Q4-1. 新卒者を採用する企業として、学校教育に対して期待すること(人格的要素 各項3つまで選択)



# 1. 企業から寄せられた声



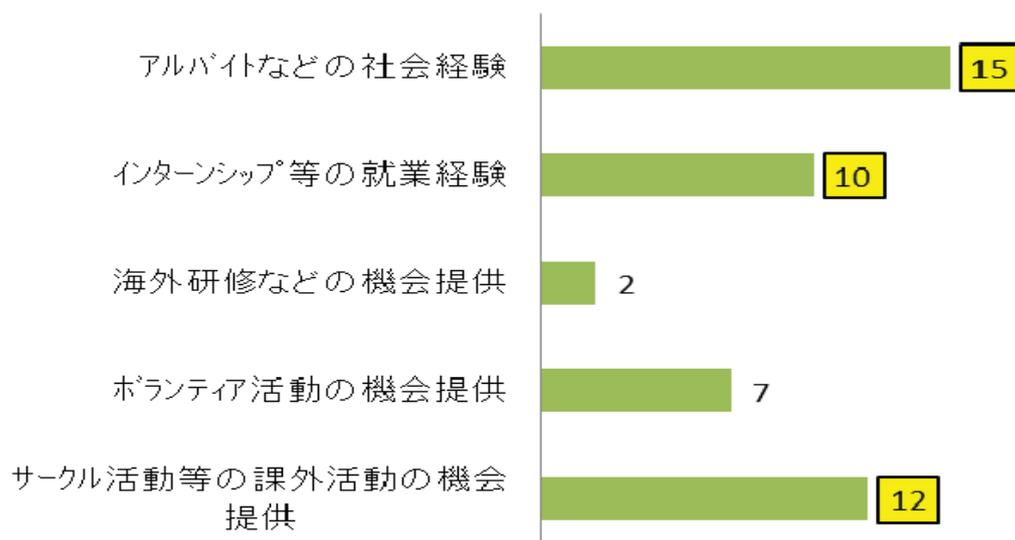
■ Q4-2. 新卒者を採用する企業として、学校教育に対して期待すること(学力的要素 各項3つまで選択)



# 1. 企業から寄せられた声



- Q4-3. 新卒者を採用する企業として、学校教育に対して期待すること(経験的要素 各項目3つまで選択)



# 1. 企業から寄せられた声



## 2016企業採用アンケート(本学独自)

### ■結果概要

#### 求める人材像

- ・コミュニケーション力(チームでやり遂げる力)があり、目的・目標を設定して行動(向上心、挑戦する人)できる学生
- ・自己を理解し現状を分析できる力と物事を筋道立てて考える力を持つ学生
- ・人柄が良い学生(元気・明るい・素直)

#### 大学に期待する事

- ・コミュニケーション力やストレス耐久力、社会人常識等の社会的基礎力の養成
- ・考え抜く力と対応力、一般教養などの基礎学力の養成
- ・アルバイト(経験、意義)やサークル活動(上下関係、打たれ強さ)等の課外活動の機会提供

# 1. 企業から寄せられた声



## 働く際に必要とされる

### ● 問題解決能力とは？

・変化が激しい社会で、課題を見出し、チームで協力して解決する力

### ● コミュニケーション能力とは？

・世代(価値観)の異なる相手とも双方向で真摯に学び合う対話力  
・世代を超えて業務に対応する力

### ● ストレス耐久力とは？

・耐力(物事を恐れたり気おくれしたりしない気力、度胸)  
・胆力(目標に向かって物事をねばり強く続けていく気力)  
・困難から逃げずにそれに向き合い、乗り越える力

# 2. 学生支援を通じて感じること



- ・ 失敗を恐れ、正解やマニュアルを求める
- ・ 自信がない(行動に移せない)
- ・ 年齢の割に考え方が未熟
- ・ 知識があっても応用がきかない



つぶやき

「真面目な学生が多い・・・

もう少し遊びごころや器用さがあってもよいのになぁ」

そういった学生の多くが・・・

**経験値の不足**

**限られたコミュニティの中での生活**

## 2. 学生支援を通じて感じること



### ■ 大学はどんな学びの場？

- 様々な社会現象(目の前の出来事)が持つ意味を自分が納得できる形で理解していくことを学ぶ
- そうかもしれないが、そうではないかもしれないと自ら考え、疑問を持ち、判断する力を養う場
- ここで学ぶ意味を持ち 自信をつける



そんな学びや経験を通して

頭でっかちではなく、様々な場面に向き合い対応するための基礎力を身につけて欲しい

## 3. 大学でどう備えるか？



### 「アクティブ・ラーニング」的学び

- 「思考を活性化する」学習形態を指します。例えば、実際にやってみて考える、意見を出し合って考える、わかりやすく情報をまとめ直す、応用問題を解く、などいろいろな活動を介してより深くわかるようになることや、よりうまくできるようになることを目指すもの。
- 「学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る」学修(能動的学修)のことだとしています。具体的には、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク、など。

### 3. 大学でどう備えるか？



効果が高いと感じている取り組み(働くことを身近に感じる機会)

#### 1. 「インターンシップ」(就業体験型)

- ・職業意識の育成を目的としたインターンシップ。体験的に働くことで、社会人として求められる職業能力を意識し、自らの学習意欲の向上、労働意欲の向上に役立てる。
- ・外に出てゆさぶられる

#### 2. 企業人・卒業生との座談会(グループワーク)

- ・他人事ではなく当事者意識を持ちワークに参加する(情報収集と意見交換)
- ・キャリアモデルを通して自分の将来をイメージしてみる。

★社会・経済的自立に加え、人格的自立を促す学びを大学全体で目指していく

★「キャリア教育が・・・」ではなく、全ての学びがキャリアに繋がる

### 3. 大学でどう備えるか？



## 学生の皆さんへメッセージ①

### ★様々な状況に向き合い、対応する力をつけよう

- ・理屈抜きにとにかくやってみる。行動してみる。  
損得考えずどんなことでも良いから・・・
- ・失敗もOK！失敗(恥をかく)からの学びが一番の成長に繋がる
- ・人と協力しながら(関わりながら)物事(仕事)を行う。
- ・その経験の中で自分の課題や状態に対する課題を探る。
- ・今までの自分の経験や学びの中で、自分が一番良いと考えるやり方(方法)で対応してみる)

### 3. 大学でどう備えるか？



#### 学生の皆さんへメッセージ ②

★今日から意識してみよう～社会人の基礎技術～

##### 【伝える努力】

どんなに良い考えを持っていても、どんなに素晴らしい思いを持っていても相手に伝わらないと意味がありません。流暢でなくてもポイントをつかもう！

##### 【聴く姿勢】

会話の中には様々な情報やヒントがあります。相手の考えを知るとその後の対応がスムーズになり、行動が変わり周りの反応にも変化が出てきます。

##### 【相手の理解】

考えが違ったとしても「そういう考えがある」ことを理解しよう。  
物事の見方は1つではありません。そのサンプルがたくさんあればある程様々な局面で対応してゆく力がつきます。

### 3. 大学でどう備えるか？



#### 学生の皆さんへメッセージ③

★これからに向き合う姿勢を養う

自ら変化を取りに行く  
(新しい自分と出会うために)

- 問題が生じてから変わろうとするのではなく、うまくいっている時こそ自ら変えていく。少しずつでいいから新しいことをする。  
次の大きな変化を計画して準備する

どんなことでもいい！  
学生時代に熱中したり夢中になれることを  
経験をしておいて欲しい



ご清聴、ありがとうございました。